

会 議 録

| | | | |
|--------------------|--|------|----|
| 会 議 名 | 第19期小金井市公民館企画実行委員の会議 第21回 | | |
| 事 務 局 | 公民館 本館 | | |
| 開 催 日 時 | 平成20年 6月 3日 (火) 午前10時から正午 | | |
| 開 催 場 所 | 公民館本館 | | |
| 出 席 委 員 | 池内委員、遠藤委員、大森委員、片山委員、末包委員 | | |
| 欠 席 委 員 | 吉池委員 | | |
| 事 務 局 員 | 松本係長、和田主事、渡辺社会教育主事 | | |
| 傍 聴 の 可 否 | 可 | 傍聴者数 | なし |
| 傍聴不可・一部不可の場合は、その理由 | | | |
| 会 議 次 第 | <p>1 議題</p> <p>(1) 公民館主催講座について</p> <p>(2) 福社会館まつりについて</p> <p>(3) その他</p> | | |

| | |
|-------------|---|
| <p>会議結果</p> | <p>司会：池内委員</p> <p>1 公民館主催講座について</p> <p>渡辺：緑分館と調整しながら、という件ですが、緑分館市民講座は今年度も、山田有策先生にお願いして、ということで企画が進んでいます。本館として、池波正太郎を機軸にいくつかの切り口を設定して、というところまで話が進んでいます。講師としては、山田先生の他、大石学先生が提案されています。</p> <p>大森委員：大石先生でしたら、時代考証を切り口にして見たらどうでしょうか。時代は、江戸時代ですが。</p> <p>池内：真田太平記は、豊臣秀吉の時代から江戸時代へ移る時期ですね。</p> <p>渡辺：緑分館の講座を引き受けていただいていますから、山田先生にどれくらいお願いできるのか、話してみないと決められません。大石先生とあわせて、テーマをもう少しはつきりさせてお願いしてみましよう。枠組みが決まった時点で、担当企画実行委員、職員と先生と打ち合わせの時間をとります。</p> <p>風間：子ども体験講座は、7月から始まって4回です。</p> <p>松本：第1回目は、野川で「小川の生き物観察会」、第2回目は、野川公園で「虫・ムシ・むし」というテーマです。第3回目は野鳥観察、4回目はクリスマスリースと続きます。前原小学校、第四小学校にビラ入れをする予定です。</p> <p>池内：この講座の意義はどういうことが言われましたか？</p> <p>松本：週休二日制が導入されてのイベントづくりがキッカケだと思います。自然体験そのものが失われている中で、小金井の身近な自然に触れてみようということです。</p> <p>大森委員：例えば、後援事業で乗馬をやって、それからその感想を書いてもらって、体験した後と前の違いをみるという企画がありますが・・・</p> <p>片山委員：ただ、体験してから感想を書く、まとめるというようなことは学校でたくさんやっています。あまり勉強という雰囲気になると子供は集まらなくなります。楽しかったなあ、ということでいいんじゃないでしょうか。</p> <p>松本：自然に触れてもらう、それだけのことで感動してましたね。</p> <p>片山委員：今は、公園で遊んでもうるさい、と言われることがあります。</p> <p>大森委員：川遊びで、子どもたちは直ぐに生き物を掴めますか？</p> <p>松本：初めは、恐る恐る・・・わーわー言ってますが。</p> <p>片山委員：子どもにとって、たくさんの機会があった方がいいんじ</p> |
|-------------|---|

やないでしょうか。

末包委員：毎回、どれくらい集まるんですか？

松本：多いときは30人くらいです。

末包委員：それだけ集まればよいですよ。

松本：他館の子ども体験講座がなくなる中、本館の子ども体験講座が残りました。

末包委員：なくなってしまった理由は？

松本：応募が少ない、子どもたちが忙しすぎるということもあるかもしれません。

和田：特に、本館は近くに児童館ありませんし。

末包委員：他館の講座をどうこう言えないですが、本館の子ども体験講座の灯は消さないことが重要です。

片山委員：リース作りは、親が夢中になります。

末包委員：あの時は盛況でしたね。

大森委員：リピーターは多いのですか？OBが、指導者になってくれれば良いですね。

和田：シルバー大学は募集が始まりました。初日で、ハガキが27通。準備会、企画実行委員を合わせてすでに37名の参加申込みがありました。講師も決まりました。今回、市報に表が掲載されました。よかったのですが、逆に、この日だけ参加したいという問い合わせが多くなりました。講座の趣旨として、原則それは困ります、ということを説明しています。

末包委員：そういう問題は起きますが、やはり表が掲載されることは良いことです。内容を知りたい方は多いです。

和田：また、皆勤賞をと言う要望がありましたのでやりましょう。

大森委員：東分館で裁判員制度をやっていますが、評判が良かったら紹介して欲しいですね。

松本：子ども人権講座の準備会が始まりました。9人ほどの参加がありました。

末包委員：準備会に9人も来るのはすごいですね。

渡辺：市民講座の案は、別紙1の表のとおりです。前回の準備会の際に、この講座が本館だけの講座でなくすべての小金井市公民館の講座であることが理解されていない、役割、開催場所等について各館にも担ってもらうように働きかけて欲しいという声が出されました。各館の職員を通じて企画実行委員の皆様に、説明していただくことになっています。賛同を得られれば、この表のとおり実施したいと思います。

16ミリ発声映写機操作講習会は別紙2のとおり、実施します。是非、PRよろしくをお願いします。

| | |
|------|--|
| | <p>2 福社会館まつり</p> <p>渡辺：福社会館まつりの日程は、別紙3のようになっています。よろしくお願ひします。</p> <p>和田：けん玉名人の松永義希をお呼びして、実演をしていただきます。集まった子どもたちに、喜んでいただけるような企画とお土産？を考えています。</p> <p>3 その他</p> <p>渡辺：6月20日午後1時半から、公民館運営審議会委員、企画実行委員、職員、三者の話し合いがもたれます。</p> <p>大森委員：そのときには、まとまっているのですか？</p> <p>事前に、そのまとめを郵送していただければ、当日意見を言えといわれても無理ではないですか。</p> <p>末包：それを用意できないとまた、話し合いが進まなくなると思います。</p> <p>渡辺：はい分かりましたと、言えないところが辛いのですが、今度、公民館運営審議会の方針作り小委員会がありますので、私が出席して、ここに出た意見を伝えましょう。</p> <p>次回：6月3日午前10時から公民館本館で</p> |
| 配布資料 | <p>別紙1 「本館市民講座（案）」</p> <p>別紙2 「16ミリ発声映写機操作講習会」</p> <p>別紙3 企画実行委員の会議 レジユメ</p> <p>別紙4 福社会館まつり「けん玉名人・松永さん参上」</p> <p>別紙5 シルバー大学「今を生きる！」</p> |